

おらほの病院

95

～あたたかな医療をめざして～

諏訪中央病院 リレーコラム

皆さんは、鼠径ヘルニアという病気を耳にされたことはありませんか。

足の付け根の部分を鼠径部といいます。鼠径部の腹壁の壁が弱くなり、お腹の中の腸などが筋肉の隙間から飛び出した状態のことを言います。

飛び出している内容物が小腸のことが多いので、一般的には脱腸と呼ばれています。膨らんでいるだけで何ともないと言われる方もいますが、多くの方が重苦しさや痛みを訴えられます。

飛び出した腸の首根っこが「きゅーっ」と締め付けられてしまい、腸の血の巡りが悪くなることを嵌頓といっています。嵌頓が起きた場合はものすごく痛く、また鼠径部がかなり硬くなり、戻らない場合は緊急手術が必要となります。

鼠径ヘルニアは脱腸帯や薬では治すことができません。治療方法は手術しかありません。施設によって手術方法や麻酔方法は異なりますが、体に入れても安全な素材で作られた人工

諏訪中央病院

外科部長

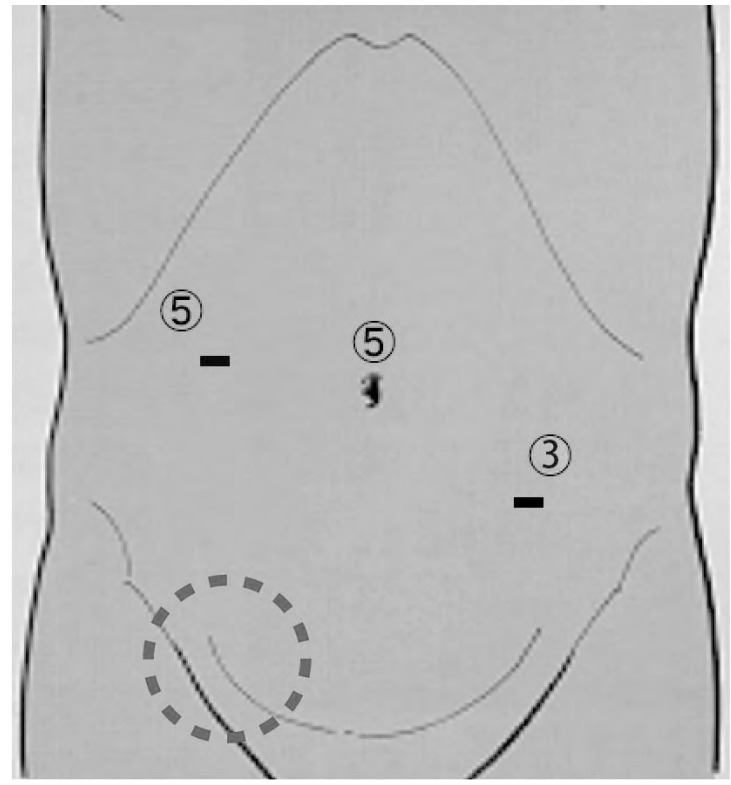
こん どう すぐる
近藤 優



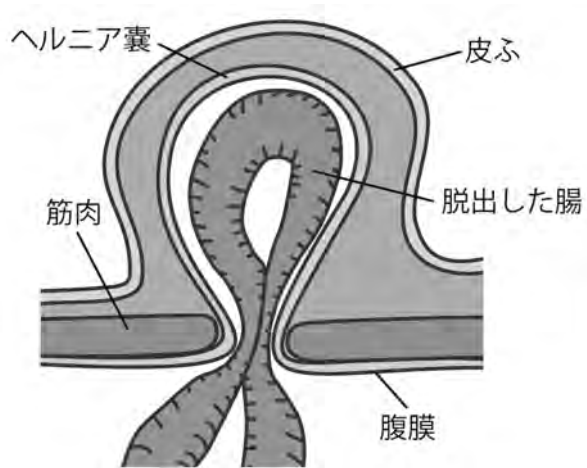
鼠径ヘルニアについて

の布(メッシュ)で弱った腹壁を補強する手術が一般的です。最近では腹腔鏡を使用して修復する方法が取り入れられるようになってきました(腹腔鏡下ヘルニア根治術)。この方法は術後の傷跡や痛みが少なく、社会復帰が早いことが特徴で、当院で

もこの腹腔鏡下ヘルニア根治術を行っています。前任地で施行していた腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術を2019年9月に当院でも導入し、これまで300症例以上の手術を行いました。ヘルニア嵌頓症例、再発症例や巨大鼠径



最近では腹腔鏡を使用して修復する方法が取り入れられるようになってきた鼠径ヘルニア。数字は腹腔鏡下ヘルニア根治術の傷の大きさ(ミリ)



嵌頓のイラスト図

ヘルニアなど難易度の高い手術も腹腔鏡下手術で行ってきました。再手術などの大きな合併症はなく、通常の場合では傷も5ミリ、5ミリ、3ミリと細径鉗子を使用し全国的にも小さな傷で行っています。

また、合併症を少しでも減らすよう癒着防止剤の使用や再発予防のために大きいサイズのメッシュを使用するなどこだわりをもって手術を行っています。手術翌日に退院という点は手術を受けた皆様にご評価を頂いています。

気になることがありましたら当院外科外来を受診して頂ければと思います。

次回は9月1日掲載予定
(題字は鎌田實名誉院長)

近藤 優 (こんどう・すぐる)
外科部長。日本外科学会(指導医・専門医)、日本消化器外科学会(指導医・専門医)、日本消化器病学会(指導医・専門医)、日本消化器がん検診学会(総合認定医・胃認定医・大腸認定医)。2019年4月より諏訪中央病院入職。